

2. 北海道の庭園

i) 最初の日本庭園　日本で最も古い確かな庭園は、奈良県明日香村で発掘された小壱田宮推定地の卵円形小池を伴うものである。この頃の庭園遺跡またはそれに関連するのではないかと考えられるものに、同じ明日香村で発掘された坂田寺跡の泥土堆積と石積遺構、それに島庄の約42m四方の方形池遺構がある。これらはいずれも7世紀初頭のものと考えられ、今のところでは、この頃に日本で初めて庭園が作られたとみてよさそうである。これらの池は単純な汀線で構成されており、その形状は稚拙である。

7世紀後半から8世紀に入ると、藤原宮や平城宮・京で盛んに庭園が作られるようになる。平城京左京三条二坊六坪の『宮跡庭園』を始め、多くの遺構が検出されている。池の汀線は屈曲したものとなり、緩やかな勾配の浜となる。汀・池底は礫敷または河原石張で化粧し、水深は浅い。これらの池形は後の平安時代の寝殿造系庭園と類似した点が多くみられ、この頃に日本庭園の原形が成立したと考えられる。

ii) 庭園文化の展開　平安時代は貴族文化の花開いた時期である。庭園は、この貴族文化を支える重要な場として活用され、庭自体も大いに造形性を高めたのである。この頃の庭園は、当時の建築様式と関連して『寝殿造系庭園』と呼ばれている。高陽院や鳥羽離宮などで庭園の一部が発掘されているがその事例はあまり多くない。

一方、仏教の末法思想の影響を受けて、第宅を寺院にしたり　また新たに寺院を造営して阿弥陀堂を建立し、浄土の雰囲気を表現する池庭も併せて造成された。京都市岡崎にあった法性寺や岩手県平泉の毛越寺などで園池の状況が明らかになっており、寝殿造庭園と同じ手法によって造庭されていた。これらの寺院系の、欣求浄土を表現した庭園の遺存例は比較的多く『浄土庭園』とも呼ばれている。

中世に入ると、寝殿造系の園池を伴う大庭園も引き続き作庭されたが、禅宗の盛行とともに『枯山水庭園』が確立し、小面積の空間に自然を象徴する造庭が行なわれるようになった。更には茶道が起り、瀟洒な空間造成への道も開かれることになった。

iii) 庭園文化の地方伝播　平安時代、奥州藤原氏は京都の文化を平泉に移して三代にわたって栄えた。この平泉に、毛越寺を始め、無量光院・観自在王院の庭園が作られた。秀衡の娘が建立した福島県いわき市の白水の阿弥陀堂にも池庭が残っており、奥州藤原氏によって庭園文化が京都以外に広められたのである。

この藤原氏を滅ぼした源頼朝は、その文化の素晴らしさに感動し、鎌倉に永福寺を建立して造庭を行なっている。こうして庭園文化は次第に地方へ伝わっていくようになった。小面積でも造庭が可能な考え方や手法の広がりや、いわゆる戦国大名が居館に造庭を行うようになったことによって庭園文化の地方伝播に拍車がかかった。

福井県の朝倉氏一乗谷の諏訪館や湯殿跡の庭園群、岐阜県神岡町の江馬氏館跡や大和村の東氏館跡の庭園など、福岡県英彦山の亀石坊庭園や山口県常栄寺の庭園などが知られている。

iv) 庭園文化と庶民階級 近世にはいると、これまでの池を中心とした大規模な庭園の手法や枯山水庭園や茶庭の手法を総合した、いわゆる『回遊式庭園』が成立する。桂離宮や修学院離宮の他、小石川後樂園、金沢兼六園、岡山後樂園、広島縮景園など各地の大名庭園にその実例が多い。

一方、茶庭の成立は枯山水の手法とともに、これまでの大規模な建築に伴う大庭園とは異なった、小建築に伴う小面積の庭園を可能にした。これによって庶民の住宅である町屋にも庭園が作られるようになった。その初めのものは『洛中洛外図』などにもみられるが、一般的になったのは江戸時代中期以降と考えられる。こうした庭園空間を有する町屋に住む人は富裕な人々ではあっただろうが、ともかく庭園が庶民階級の住宅にも作られるようになったのである。

v) 北海道の庭園 庭園文化は近世において概ね日本全国に波及していた。北海道にも松前町の光善寺・法幢寺・法源寺などに庭園をみることができる。これらのうち、光善寺本堂の庭園は江戸時代に作庭されたと見られる庭園で、おだやかで小さいながらも急な斜面を持った山腹の谷筋に滝組を施し、本堂との間に池を穿ち、東西から大きな岬が張り出して変化をみせている。最近整備されたが、よく古態を伝えて見事である。北海道にこうした庭園があった事は最近まで専門家の間でも等閑視されていたが、庭園文化の伝播を見る上で貴重な遺例である。永く保存されることが望まれる。

近代から現代に至る間は、庭園文化がより一般化し、多くの人々が自ら庭園に親しむことが出来るようになった時代でもある。この時期はまた、北海道が大きく開発されてゆく時代でもある。運上家という特殊な状況であるにせよ、ここにも庭園が作られていたということは、庭園の歴史を見る上で貴重な記録である。

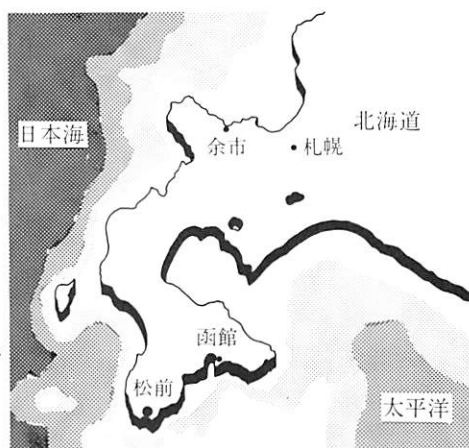


fig.-20 北海道庭園位置図



fig.-21 光善寺庭園



fig.-22 高龍寺庭園